

まちづくりの主体は市民です。  
練馬・生活者ネットワークは、市民主体  
のまちづくりを実現するため、市民と都  
区議会、行政とのパイプ役に代理人(議  
員)を擁立し、ともに活動しています。

# 練馬・生活者 ネットワーク ニュース 140

2014年9月1日 No.140  
発行 練馬・生活者ネットワーク  
発行責任者 山口文江  
〒176-0001練馬区練馬1-15-1堀越ビル302  
電話03-3993-4899 FAX03-5999-4632  
ホームページ http://www.nerima-net.gr.jp/  
Eメール info@nerima-net.gr.jp

## 2015年練馬区議選にむけて きみがき圭子・橋本けいこ・やない克子の擁立を決定



やない克子 かっこ

1962年生まれ。2014年4月練馬区議会議員補欠選挙で初当選。



橋本けいこ はしもと

1958年生まれ。2011年4月練馬区議会議員初当選。



きみがき圭子 けいこ

1957年生まれ。2011年4月練馬区議会議員初当選。

練馬・生活者ネットワークは、来年4月の練馬区議会議員選挙に、きみがき圭子、橋本けいこ、やない克子の現職3人を擁立します。  
現政権は、原発推進、特定秘密保護法、集団的自衛権行使容認など、民意を無視し続けています。このままでは、市民の生活が破壊されかねません。私たちは、「政治は生活の道具」であると考え、この暴挙をとめるために練馬から行動していきます。

### 子育て・介護は 社会のしごと

介護保険制度制定から14年を経て、家族状況の変化とともに、介護は女性だけが担うべきという認識は薄れてきました。一方、財源が逼迫し、制度改定毎に利用抑制の力が働き、当初うたわれた「介護の社会化」からは遠のいて、再び家族への負担が重くなっています。医療と介護の連携による看取りをも視野にいたれた施策の充実に取り組みます。  
働く女性が増え続けているにもかかわらず、保育所・学童の待機児童問題、男女ともに子育てをしながら働くことのできる環境整備は遅々としてすすみません。

### 放射能から 子どもを守る

福島第一原発事故の後、放射能による子どもの被曝について多くの保護者から不安の声が上がりました。  
に捉えています。介護や育児を「女性だけの問題」とする意識は「女性への人権侵害」として、引き続き取り組んでいきます。

### 市民がつくる 安全・平和

放射能の子どもへの影響は大きく、外部被曝と内部被曝を長期的に考えなければなりません。独自に健康被害の調査や食品の測定を実施している自治体もあります。しかし、練馬区ではわずか12カ所の定点観測を行っているだけです。  
事故から3年半、国がさまざまな規制を緩め、なかったことにしようとしている今、学校や幼稚園、保育園などの空間線量や給食食材の測定、区内に避難している福島の子どもたちを含めすべての子どもたちの健康相談、避難できない子どもたちの保養の場の提供などを区に求めていきます。



▲2014年6月1日、原発再稼働反対・練馬パレードに参加。区議会議員やない克子(右)、橋本けいこ(中央)

生活者ネットは、誰もが安心して自分らしく生きられる社会は平和であればこそと「9条をまもる」活動を続けてきました。しかし、本年7月1日、安倍政権は、憲法を解釈変更し集団的自衛権行使の容認を閣議決定しました。歴史の重大な岐路となる問題を、主権者の国民に問います。



▲練馬ネット9条の会では、毎月9日に練馬駅前9条アピールに取り組み、「地域から市民の手で平和をつくらう」と訴えている。区議会議員きみがき圭子

2015年区議会議員選挙にむけて、「脱原発!いのちを守る自然と環境」「食の安全を確保する」「すべての人の人権を大切に」「住民主体でまちづくりを進める」「防災・災害復興に女性・子ども・障がい者の視点をいかに」「議会を変えよう」などの政策をかけた、すすめていきます。  
練馬・生活者ネットワーク代表 山口文江

# 若者の自立をサポートする

## ■練馬にもサポステ

私たちが提案してきた、厚労省の認定事業である地域若者サポートステーションが、昨年6月から春日町青少年館に「ねりまサポステ」として設置されています。自立や働くことに悩んでいる若者(15〜39歳)と家族のための相談窓口です。

ここでは、ニートやひきこもりなどなかなか社会に出て行けない若者の相談にのり、自立のための準備として就労をめざして力をつける多様なプログラムが用意されています。

区が行っていた「ヤング応援就職面接会事前セミナー」と「わかものスタート支援」が、NPO法人「文化学習協同ネットワーク」に委託されました。このNPOが長年にわたって不登校対応などで積み上げてきたノウハウは、メンタル相談やコミュニケーションセミナー、地域ボランティア体験、就労体験セミナーのほか、保護者・家族への情報提供

前区長の急逝による区議会議員補欠選挙は、練馬・生活者ネットワークとして初めての経験でした。「ま

## 4月20日投票 練馬区議補選2位当選



▲4月19日、選挙戦最終日、練馬駅前政策を訴えるやない克子

候補者やない克子は、これまで議会傍聴や地域の活動に積極的に参加し、市民の声が届かない練馬区政を肌で感じ、怒りをもって臨みました。おおぜいのボランティアの協力も得て、4万3830票2位当選(立候補者7、被選挙数3)を果たしました。

練馬・生活者ネットワーク代表

山口文江

にも及び、利用者に好評です。今後は、地域や学校との連携で中途退学者の学び直しや再チャレンジが可能で、『若者の育ちを支援する場』として地域社会に根づいてほしいと思います。

## ■若者が育つ社会を

今年5月から8月にかけて、生活者ネットワークが東京全域で行った「若者の働き方」アンケート調査で



▶春日町青少年館にある「ねりまサポステ」。若者の来所を待っている。右から、きみがき圭子、橋本けいこ、やない克子、菊地靖枝

<http://www.kyodonet-nerima.net>

## 健康に不安！ 携帯電話 基地局の建設

携帯電話基地局周辺の住民が頭痛、めまい、耳鳴りなどの「電磁波過敏症」を発症したとの報告が増えています。

昨年、中村地域では、マンション屋上に携帯基地局が建設され、近隣住民からは「撤去を求め」陳情が提出されました。しかし、事業者との十分な話し合いのないまま今年5月、一方的に通電されてしまいました。6月、調布市議会では、「基地局設置には事業者からの近隣住民への



▲3階建てマンション屋上に設置された携帯基地局

は、働き方の相談窓口として地域若者サポートステーションの認知度は低く、まだまだ身近な存在にはなっていません。「サポステ」はハローワークのような単なる就労斡旋や促進の場ではなく、『自立って何?』『働くってどういうこと?』と根源的な問いに向きあって、自分らしく生きるすべを身につける場なのです。

一人ひとりの若者が自分のペースでじっくり育ち、自分にあつた働き方ですっきりと自立できるよう社会のサポートが必要です。

子ども・教育部会 吉川美佐子

事前周知と話し合い」を求める陳情を採択しました。事業者は住民への情報公開と納得のいく話し合いをすべきです。

欧州では、基地局の電磁波の規制値が日本の100分の1と厳しい国もあり、健康を重視した電磁波対策がとられています。

練馬・生活者ネットワークは、基地局周辺での電磁波測定や、学習会を開催し、予防原則にたつた対策を求めていきます。

環境部会／区議会議員 橋本けいこ

## 「これはおかしい」と 思う感覚を 障害者差別解消法の 施行にむけて

あなたのまわりに障がいを持った人はいますか? 日本では憲法のもと、平等がうたわれていてもさまざまな差別が存在します。障がいのある子どもが地域の学校に入学したいと希望したとき、あたりまえのこととして受け入れられるでしょうか。体調が安定せず1日3時間しか働けない人が仕事をしたいと思つたとき、就職できるでしょうか。また、民間スポーツクラブの入会を断られ

たという話も聞きます。2016年施行の障害者差別解消法は、障がいがあることで社会的な不利益を被らないよう、社会全体で環境(人的、物的)を整えようとするものです。しかし法律ができてしまわりの人が「これはおかしいよ(差別だよ)」と思う感覚がなければ、ともに生きる社会は実現しません。当事者は「あなたの権利を認めるから私の権利も認めて」と望んでいます。

私たちは、障がい者が本音で語れるしゃべり場を企画します。ぜひご参加ください。

福祉部会 山本ふき子

## 「ひとこと提案」をお寄せください

練馬・生活者ネットワークは、毎年10月ごろ、区民のみならず市民団体から寄せられた意見や要望をもとに、次年度の予算要望として区長に提出しています。新区長は未来を見ずえた新しいビジョンの策定にむけて、12月を目途に素案をまとめ、次年度当初予算に可能な限り反映すると明言しています。ぜひ、皆様のご意見を「ひとこと提案」として、お寄せください。

ファックス: 03-5999-4632  
メール: info@nerima-net.gr.jp  
送り先: 〒176-0001 練馬区練馬 1-15-1-302  
練馬・生活者ネットワーク

### インフォメーション

◆生活者宣言のつどい(予告)  
(仮題)鎌仲ひとみ監督と見る話す“カノンだより”  
日時: 2014年11月30日(日)14時~16時  
場所: 練馬区立石神井公園区民交流センター  
2階展示室兼集会室  
資料代: 500円  
◆出前講座「防災まち歩き」  
地域を防災・減災の視点で歩いてみませんか?  
期間: 2014年12月まで(相談の上対応)  
内容: 防災マップづくり、防災設備の見学など  
◆電磁波の学習会(予定)  
日時: 2014年10月18日(土)14時~16時  
場所: 練馬区立石神井公園区民交流センター  
2階 会議室(2)(3)  
講師: 上田昌文さん(NPO法人市民科学研究室)  
※資料代あり  
◆ボランティアサポーター募集  
ニュースの封入作業やニュース配布などボランティアサポーターを募集しています。  
問合せ: 練馬・生活者ネットワーク  
☎03-3993-4899  
Eメール: info@nerima-net.gr.jp

### 練馬・生活者ネットワークのルール

1. 議員を職業化せず、特権化しないために、議員は原則2期(8年)でローテーション(交代)します。
2. 議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開します。
3. 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

カンパ 振込先 【郵便振替】00100-6-398010  
練馬生活者ネットワーク